

R6 特別支援学校における就労推進事業

R6.4.1
特別支援教育課

課題

- ・令和5年度卒業生の就職率は、前年度より0.7%(26.1%⇒26.8%)向上した。目標数値(30%)と比べて3.2%下回っている。
- ・自立と社会参加に向け、生徒の進路の対する意識の向上を図りながら、多様化する産業に対応した進路指導に取り組み、就職促進と職場定着を推進する必要がある。

方策

- ・積極的な職場開拓と障がい者雇用への周知
- ・関係機関と連携した産業現場等における実習への支援充実
- ・キャリア発達を促す取組と生徒の就労への意欲向上
- ・職場定着に向けた関係機関との連携強化

目標

地域社会の一員としての生活の充実

～ 就職率(30%)・職場定着の向上 ～

一人一人の進路実現を図る進路指導の充実

①進路指導・就労支援に関する専門性の向上

- ・外部専門家の活用
- ・企業関係者との意見交換
- ・教育課程の編成の工夫と改善、指導事例の蓄積と共有化を図ったキャリア教育の充実

②産業現場等における実習の充実

- ・「特別支援学校作業技能大会」、「産業現場等における実習」等、外部評価の活用と作業学習等、職業教育への反映
- ・地域企業等と連携した実習の充実
- ・産業現場等における実習に係る指導体制の整備と関係機関と連携した支援の充実
- ・特別支援学校早期訓練コースの活用【産業人材育成課】

令和5年度までの 達成目標

【強化項目】

進路指導の
専門性

連携した実習

企業への発信

連携体制の
構築

関係機関との連携した支援の強化

③障がい者雇用と職場定着に関する企業等への発信

- ・特別支援学校高等部の取組の紹介
- ・「特別支援学校作業技能大会」の周知による企業・事業所等への啓発
- ・リーフレットを活用した職場開拓
- ・卒業生追指導やジョブコーチ等による職場定着の向上

④障がい者就業・生活支援センター等との連携強化

- ・各学校と障がい者就業・生活支援センターとの連携による実習の実施
- ・「障害者就職面接会」への参加【労働局】
- ・「県自立支援協議会就労部会」による各機関との連携強化と各地域の分析
- ・障がい者就業・生活支援センターとの連携による移行支援会議及び卒業生追指導体制の充実

評価・改善

進路支援チームによる連携した取組 (生徒指導担当者等連絡協議会)

目標: 検討情報の共有・取組の評価・課題に対する方策
(全体会: 年3回)

- ・各校進路指導主事、キャリア教育推進担当教員等による指導事例の研究と各学校、企業等への情報発信
- ・「障がい者就業・生活支援センター」等との連携強化
- ・企業関係者との意見交換 等